

## 東佐井寺留守家庭児童育成室運營業務委託事業者評価シート（令和4年度）

### 1 育成室の概要

#### (1) 児童数・教室数（令和5年3月1日時点）

児童数90人（うち配慮を要する児童2人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	21人	34人	21人	13人	1人	

#### (2) 受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和3年4月～令和6年3月）

他に受託している育成室（佐井寺育成室、山手育成室）

### 2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	2
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

### 3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容をおおむね適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が行われている。
- ②令和5年2月に主担任3人が全員退職する事態となり、児童や保護者に対して多大なる不安を与えることとなった。本部職員によるフォロー体制の強化や新たな指導員の配置は行ったが、児童や保護者との信頼関係の構築には継続的な雇用が望ましいため、事業者として定着率の向上などの早急な改善が必要である。
- ③主担任の退職が大きく影響し、保護者アンケートの「保護者にとってどの程度満足できる場所でしたか。」の設問で、1回目（1学期・夏休み終わり）に実施した結果では、「満足」と「少し満足」の回答の合計が約88%と高い割合であったが、2回目（年度末）の結果では約52%と約36ポイント減少している。その他の項目においても、肯定的な回答が65%を下回る低い割合となっている。
- ④学校の夏休み期間等のレトリトデイやお弁当注文は、保護者の負担軽減につながっている。また、業務実施状況報告書からは夏休み期間中の一日保育時に、外部の英語の先生やけん玉の先生を招くなど、独自の取組も行っていることが読み取れる。